



MediaSense のポート使用状況

- [ポート使用状況表の列, 1 ページ](#)
- [MediaSense のポート使用状況, 2 ページ](#)

ポート使用状況表の列

このドキュメントに含まれるポート使用状況表の列について、次に説明します。

リスナー（プロセスまたはアプリケーション プロトコル）

サーバまたはアプリケーションを表す値と、（必要に応じて）オープンまたは独自のアプリケーション プロトコル。

リスナー プロトコルおよびポート

サーバまたはアプリケーションがリッスンしている TCP または UDP ポートの ID と、サーバとして動作している場合の着信接続要求の IP アドレス。

リモート デバイス（プロセスまたはアプリケーション プロトコル）

プロトコルで指定されるサーバまたはサービスに接続するリモート アプリケーションまたはデバイス、またはリモート プロトコルおよびポートでリッスンするリモート アプリケーションまたはデバイス。

リモート プロトコルおよびポート

リモート サービスまたはアプリケーションがリッスンしている TCP または UDP ポートの ID と、サーバとして動作している場合の着信接続要求の IP アドレス。

トラフィックの方向

ポートを通過するトラフィックの流れる方向（着信、双方向、発信）。



(注) オペレーティング システムは、ローカルアプリケーションまたはサービスがリモートデバイスの宛先ポートへの接続に使用する送信元ポートを動的に割り当てます。ほとんどの場合、このポートは、TCP/UDP 1024 より大きい番号でランダムに割り当てられます。

MediaSense のポート使用状況

表 1: MediaSense のポート使用状況

リスナー (プロセスまたはアプリケーション プロトコル)	リスナー プロトコルおよびポート	リモート デバイス (プロセスまたはアプリケーション プロトコル)	リモート プロトコルおよびポート	トラフィックの方向	コメント
HTTPS	TCP 443、8443	Web ブラウザ	任意 (Any)		管理、サービスアビリティで使用
HTTPS	TCP 8440	クライアント アプリケーション	任意 (Any)		API アクセスで使用
HTTPS	TCP 9443	クライアント アプリケーション	任意 (Any)		認証された要求をリダイレクトするためにメディア デバイスによって使用される。
HTTPS	TCP 8446	Web ブラウザ、API クライアント	任意 (Any)		コール制御サービスで使用。
HTTPS	TCP 9081	クライアント アプリケーション	任意 (Any)		認証された要求をリダイレクトするためにメディア デバイスによって使用される。
HTTP	TCP 80、8080	Web ブラウザ	任意 (Any)		管理、サービスアビリティで使用
HTTP	TCP 8081	Web ブラウザ、API クライアント	任意 (Any)		コール制御サービスで使用
HTTP	TCP 8085	別の CMS のノード	任意 (Any)		コール制御サービスで使用
HTTP	TCP 8087	CMS クラスター ノードのみ	任意 (Any)		システム サービスで使用

リスナー（プロセスまたはアプリケーションプロトコル）	リスナープロトコルおよびポート	リモートデバイス（プロセスまたはアプリケーションプロトコル）	リモートプロトコルおよびポート	トラフィックの方向	コメント
HTTP	TCP 8088	CMS クラスタ ノードのみ	任意 (Any)		コンフィギュレーションサービスで使用
RTSP	TCP 554、8554	RTSP メディア プレーヤー	任意 (Any)		SM エージェントで使用
RTSP	TCP 9554	クライアントアプリケーションまたはメディアプレーヤー	任意 (Any)		認証された要求をリダイレクトするためにメディアデバイスによって使用される。
SIP	TCP 5060 UDP 5060	Unified Communications Manager または Unified Border Element	TCP 5060 UDP 5060		コール制御サービス。
TCP/IP	TCP 1543	CMS クラスタ ノードのみ	任意 (Any)		プライマリ サーバとセカンダリ サーバ間の接続を確立するために Informix ER によって使用される。 JDBC を Informix と接続するために API サービスまたはコンフィギュレーションサービスによって使用される。
キープアライブハートビート	UDP 8091	CMS クラスタ ノードのみ	UDP 8091		他のコール制御サービスのアベイラビリティを検出するためにコール制御サービスによって使用される。
JMS	TCP 61610	CMS クラスタ ノードのみ	任意 (Any)		API サービスで使用
JMS	TCP 61612	CMS クラスタ ノードのみ	任意 (Any)		コール制御サービスで使用
JMS	TCP 61616	CMS クラスタ ノードのみ	任意 (Any)		SM エージェントで使用
エフェメラルポート範囲	UDP 32768 および 61000	RTP メディア ストリームを送信する電話機またはゲートウェイ。	任意 (Any)		RTP メディア ストリームを受信するためにメディアサービスによって使用されるポート範囲。

